

町報

3000人の楽しい町

No.586

こふふ

1月

2020

KOFU

♪♪♪♪♪T-T♪HAPPY NEW YEAR♪



動画で町報こふふ!

URL: <https://www.youtube.com/user/townkofu>



「第3回こつこくらぶ」での手形足形アート（令和元年12月17日撮影）

新年明けましておめでとうございます

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平成から令和の時代になり、初めてのお正月です。例年にも増して、心新たにされている方も多いのではないのでしょうか。

さて、昨年を振り返りますと、幸い本町には大きな被害はありませんでしたが、10月に台風19号が日本に上陸し、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた皆様には心からお見舞いを申し上げます。

4月には廃校となっていた旧俣野小学校を、日本財団や鳥取県などの支援を受け、地域医療人財育成拠点施設「俣野ふれ愛学舎」として開設いたしました。俣野診療所として、また、医学生や卒業生等の実習・研究の拠点施設として、「江府町の地域医療を支援する会」の指定管理により、運営していただいております。

9月には江府町新庁舎建設工事安全祈願祭が執り行われ、いよいよ新庁舎建設が着工となりました。工期は令和2年6月30日までで、令和3年初

めの業務移行をめざし移転準備に取りかかります。新庁舎建設工事に伴い、国道改良工事、河川護岸工事も併せて実施されています。

さて、今後ますます進む人口減少を食い止めることは容易なことではありませんが、一つ一つの課題を確実に解決していくことで、すべての世代の方が「住んでみたい、住み続けたい」と感じられる江府町を作り上げることができると思っています。

そのために、つながり協働し高め合う「地域コミュニティ」を大切にし、一人ひとりの生きがいを創る「チャレンジ」を支援し、未来を切り拓く力を育む「次世代教育」を進めていきたいと思えます。町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

最後に、年頭にあたりまして、皆さまのご健勝と幸多い年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年 元旦

江府町長 白石 祐治

—特集—

特産品と道の駅奥大山

四季折々の景色と特産品

奥大山の景観と清らかな水

道の駅
奥大山

「道の駅奥大山」へのアクセスについては、ホームページでご確認ください！

【道の駅奥大山HP】



道の駅奥大山！
江府町の観光と地域振興の拠点として、平成27年4月27日にプレオープンしました。そして、みちくさ館のリニューアル工事が完成し、同年6月28日にグラントオープンを迎えました。
「物産館ぶなの森マルシェ」では、『水』をはじめ、奥大山の恵みに育まれた特産品や、周辺地域のこだわりの野菜、加工品、おみやげを取りそろえています。
「お食事処なないろ榎」は、地産地消をベースに『健康で心安らぐ食』をテーマとして、地域の方々にも共感してもらえる親しみのあるメニューを提供しています。
「直売所みちくさ館」は、新鮮な地元野菜などの物産販売を通じて、町内外の交流にも取り組んでいます。
今回は、「特産品」と「道の駅奥大山」について触れていきます。

「おいしい」と「想い」をギュッと詰め合わせ！

ここにしかない！だから「道の駅奥大山」！



■そこにある「背景」を大切に

「道の駅奥大山」駅長の古海修祐さん。地域の発信基地を牽引する、若きリーダーです。「平成27年にオープンした道の駅奥大山も本年で5周年となります。町民の皆様をはじめ、本場に多くの方々に支えられながら今日まで営業してまいりました。マルシェのスタッフは年齢的にも若く、私を含め移住者も多いため、勉強不足なことが多くあります。地元の方にご満足いただけなかった時は、あれはいけんと思うじえ〜」、頑張ったときには「この前のあれは良かったわ〜」と文字通り、叱咤激励を受け、日々成長をめざしています。さて、今回のテーマである特産品についてですが、奥大山には豊かな自然に育まれた季節ごとの野菜や果物、全国レベルのお米、水、地酒、お焼きや名水もち、漬物など多くの商品があり、マルシェ、みちくさ館、双方で主力商品となっています。また、奥

物産館 ぶなの森マルシェ



▲各種イベントも開催し、交流の場になっています

大山産の原材料を使用した道の駅奥大山オリジナルの商品の開発も進めており、現在7商品を販売しております。しかし「特産品」と一言で言っても、全国には溢れるほどの商品があります。では、本当の意味でここにしかない「特産品」となるには何が必要なのでしょう。それは「背景」だと思います。もちろん、特産品自体にも価値があるのですが、そのものに込められた想いや伝統、技術、地域性といった「背景」にもっと大きな価値があると感じています。私たちは、地元の作物を販売すること、また、その原材料を加工し付加価値をつけていくことでそこに紡がれてきた「背景」を守っていく、繋いでいく。そういったお手伝いができればと思い、日々特産品の販売・開発に取り組んでいます」と、古海駅長は語られました。



道の駅 奥大山
駅長 古海 修祐 さん



みちくさ推進会議
代表 三輪 典子 さん

「直売所みちくさ館」には新鮮な旬の野菜、米、加工品などが並び、連日、町内外から多くのお客様が足を運ぶ。平成15年にオープンし、会員は現在100名を越える。朝、持ち込まれる野菜や加工品は、その日の夕方にはほとんどが売れていく。直売所を運営する「みちくさ推進会議」の三輪典子代表は、「みちくさの目標は、お客様に感動してもらえるお店であること」。これまでに、みちくさ推進会議と普及所と役場が連携して開発した加工品は、今や直売所の主力商品になっています。のりまきやおやき、アップルパイなど種類も豊富です。また、来てごしない！「の感謝を込めて、これからも地域と歩んでいきたいと思っています」と語られました。

■安心、安全で「おいしい」

直売所 みちくさ館



▲直売所 みちくさ館



▲手書きのレシピは料理の参考になります

お食事処 なないろ榎



▲真心こめて一品一品作ります



▲お食事処 なないろ榎

昼が近くなる頃、「お食事処なないろ榎」には料理のおいしそうな香りが漂ってくる。奥大山産のそば、大山どりを使用したからあげ、奥大山高原味噌を使用したラーメンなど、メニューも豊富。中心となってメニューを考案するのが、料理長の生田省二さんです。生田さんは、「コンセプトは地産地消。美用のトマトを使用したラーメンを期間限定で提供したり、地元で獲れたイノシシの骨や肉を使用したラーメンを試作したりしました。すべての料理を、町内産の食材でつくるのが目標ですが、食材によっては手に入らないものもあります。地元のみなさんとのつながりを大切にして、地元産の食材をもっと集めていきたいと思っています」と語られました。

■「おいしい」は地元にある



お食事処 なないろ榎
料理長 生田 省二 さん

特産品の生産者にインタビュー！

■自然の再生サイクルを守る

約3haの広さに5万本のほだ木。標高500mに位置する江府町侯野尾之上原の中尾和仁さんの農場では、主に原木シイタケのほか、原木なめこが育てられている。標高の高いところで育てられることにより、成長が緩やかになり、味わいは深く濃くなっていく。「近年は菌床シイタケが増えてきましたが、私は原木にこだわっています。地元で育った広葉樹の木に、菌を植え付け育てていきます。昔は、多くの人が当たり前のよう



SAC中尾 椎茸屋
代表 中尾 和仁 さん



▲一本一本、丁寧に収穫していきます



▲豊かな自然環境で育てられた原木シイタケ

に日常生活で薪を使用し、山と共に暮らしていました。しかし、今は生活スタイルも変わりました。広葉樹には「萌芽更新」といって、樹木を伐採した後に、再び芽が生育する現象があります。循環し、再生する自然のサイクルです。原木シイタケは抗ガン作用もあり、健康に最適。だからこそ、このおいしさをたくさんの人に伝えていきたいですし、生産量を増やすために後継者も育成していきたい。そして、自然の再生サイクルを守っていききたいと思います」と、中尾さんは生産に懸ける思いを語られました。

■地域をつなぐ特産品

大山南壁の麓に位置する美用集落。黒ボクの豊かな土壌のもとで、美用レディースは「ボンリッシュ」や「マスターII」といった品種のトマトを生産している。完熟のトマトを収穫し、会員によりケチャップや焼き肉のたれに加工されていく。保存料や添加物を使用しない、優しい味わいは、関東の某喫茶店からも定期的に注文が入る人気商品になっている。「今から23年前に会を立ち上げて、トマトの加工品を作り始めました。一番はじめに出来上がったケチャップを食べた時、本当においしくて感動し、」これを絶対に広



美用レディースのみなさん
(昨年12月、大山祇神社への礼参拝時に撮影)

めていきたい「と思いました。現在13名の会員で、すべて手作業で行っています。大変ですが、みんな笑顔。食べていただいて「おいしかったよ」「って声をいただくと嬉しいですし、それがまた」いいものを作ろう「って意欲になります。地域と行政が一緒になって続けてきたことに感謝しながら、さらなる特産品開発にむけて、会員みんなで頑張ります」と、代表の川上幸恵さん(写真前列中央)は語られました。



▲丹精込めて煮詰めたトマトケチャップ



▲煮沸をした瓶に、トマトケチャップを詰め、再び煮沸し殺菌します

新春特集企画！

道の駅奥大山から特産品を

読者プレゼント

□応募方法

クイズの正解者の中から抽選でプレゼントが当たります。下記の4項目を記入し、ハガキまたはメールでご応募ください。

1. 希望の商品記号または商品名
2. 掲載記事や町報こうふへの意見・感想
3. 応募用クイズの答え
4. 住所・氏名・年齢・電話番号

当選者には引換券を発送します。(商品の発送はいたしません。)引換券を店舗に持参し、プレゼントと交換してください。

【応募先】

〒689-4401

鳥取県日野郡江府町大字江尾475番地
江府町役場総務課

電話:0859-75-2211

メール:k_soumu@town-kofu.jp

応募締切

2020.

1/31

消印有効

●応募用クイズ●

Q 江府町の道の駅の正式名称は何でしょう。○欄の3文字を漢字で記入してください。ヒントは特集内にあります。

道の駅

○ ○ ○

①



しいたけ醤油奥大山・しいたけドレッシング奥大山セット【3名】
中尾さんの乾燥しいたけが入った逸品。【株式会社奥大山ドリーム】

②



美用トマトケチャップ・焼き肉のたれセット【3名】
すべて手作りによる完熟トマトで仕上げた逸品。【美用レディース】

③



お食事処「なないろ」お食事券(1000円分)【3名】
道の駅奥大山内レストランで使えるお食事券です【道の駅奥大山】

④



季節の野菜の詰め合わせ(1000円分)【3名】
江府町内の農家が作った安心・安全な季節のおいしい野菜です。【江府町特産物直売所みちくさ】

奥大山モールのページはこちらからアクセス！



「道の駅」には、主に3つの機能がある。1つ目はドライバーのための「休憩機能」、2つ目は地域の情報ステーションとしての「情報発信機能」、そして、3つ目が、地域の核として活力ある地域づくりを創出する「地域連携機能」。道の駅は誰もが快適に利用することができ、憩いの場であると共に、地域の歴史や文化、観光や特産などの情報を発信する拠点でもあります。つまり、道の駅は利用者と地域のふれあいの場であり、まさに「地域の顔」となる施設です。

「道の駅奥大山」は令和元年11月、ホームページを改修し、ページ内に、「奥大山モール」というオンラインショップを開設しました。道の駅奥大山で取り扱っている特産品がインターネットを介して手に入りやすくなり、全国にむけて発信することで、新たな交流の創出につながっています。奥大山モールについては、左下のQRコードを読み込んでアクセスしてください。

■「地域の顔」

■「人」をつなぐ



▲地域一丸となってみなさまのご来場をお待ちしております

年間約20万人が訪れる「道の駅奥大山」。友人同士や夫婦で旅行をし、その途中で休憩に立ち寄った人や、新鮮な野菜を目当てに、町外からはるばる訪れる人、開催されるイベントに参加する人など、日々様々な目的で「人」が訪れる。「奥大山と山陰のいいもん集めたけん、寄ってごしない！」を合言葉に、道の駅奥大山が厳選する特産品などの商品が、「人」を出迎える。そこには、生産者の「より良いものをつくる」という守り抜かれた信念とこだわりが込められている。

これからも、「道の駅奥大山」は人とつながりながら、地域と共に歩んでいく。

阿部朝親さん、芦立大和さんが金賞受賞！

～第16回お米日本一コンテストinしずおか～

11/28・29

「第16回お米日本一コンテストinしずおか」が11月28日（木）、29日（金）、静岡県静岡市で開催され、奥大山プレミアム特別栽培米研究会に所属する阿部朝親さんと芦立大和さんの「奥大山江府米きぬむすめ」2点が「金賞」（上位30点）を受賞しました。

今年は、全国から約600点の出品があり、研究会からもコシヒカリときぬむすめ各3点を出品。食味計等の機械測定により最終審査ノミネート75点を選出し、お米マイスター等による食べ比べ（投票）により、最終審査1回戦、同2回戦、準決勝、決勝とトーナメント方式で受賞者が決まります。阿部さんと芦立さんのお米は1回戦を勝ち上がったものの、残念ながら準決勝進出はなりませんでした。

なお、阿部さんは2回目（平成28年最高金賞）の受賞。芦立さんは3回目（平成28年金賞、平成30年最高金賞）の受賞となりました。

【芦立大和さんがセミナーで事例発表】

このコンテストは前年の優勝者が事例発表することになっていますが、昨年は2年続けて同じ生産者が優勝したために、今年は昨年準優勝の芦立大和さんが事例発表をすることになりました。

約100席の会場は、10分前には全国の生産者で満席となり、芦立さんも大変緊張した様子でしたが、約30分間にわたり研究会の活動内容や奥大山江府米のセールスポイントについて発表されました。



▲金賞を受賞した阿部朝親さん（写真左）、芦立大和さん（写真右）



▲事例発表の様子

11/30・12/1

芦立大和さんが都道府県代表お米選手権部門で特別優秀賞受賞！

～第21回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会～



▲特別優秀賞を受賞した芦立大和さん

「第21回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」が11月30日（土）、12月1日（日）、千葉県木更津市で開催され、芦立大和さんの「奥大山江府米きぬむすめ」が都道府県代表お米選手権部門で特別優秀賞を受賞しました。

今年は約5,100点の出品があり、本町も奥大山プレミアム特別栽培米研究会からコシヒカリときぬむすめ、あわせて19点を出品。1次、2次の機械審査の結果、最上位の国際総合部門には手が届きませんでしたが、それに続く都道府県代表お米選手権部門にノミネートされた芦立さんのお米は、最終審査の食味鑑定士の食べ比べ投票で、惜しくも金賞受賞にはなりませんでしたが、特別優秀賞を受賞しました。

～「奥大山江府米」を一緒に作ってみませんか～

奥大山プレミアム特別栽培米研究会事業説明会開催のご案内

江府町では、平成25年に鳥取西部農協と連携して研究会を立ち上げブランド米作りに取り組んでおり、現在では西日本では数少ない良質米産地として高い評価をいただき、高付加価値販売につなげています。

会員募集にむけ、令和2年1月末に事業説明会を行いますので、興味をお持ちの方は下記へ事前申し込みのうえ、気軽にご参加ください。

【申込方法】 江府町役場農林産業課に電話でお申し込みください。（※住所、氏名、電話番号を報告ください）

【申込締切】 令和2年1月20日（月）

【説明会開催予定】 令和2年1月末（※申込者に別途ご案内いたします）

説明会終了後に研究会入会者のとりまとめをさせていただきます。詳しくは以下へお問い合わせください。

【申込み・問い合わせ】 江府町役場農林産業課 電話：0859-75-6610

小学校で「しめ縄作り」 ～5年生米づくり体験のわらを使って～

11/30

土曜学習「しめ縄作り」が11月30日（土）、江府小学校で行われました。講師は小椋福治さん（下蚊屋）。小椋さんは長年、下蚊屋荒神神楽保存会明神社の一員としてしめ縄作りに携わってきた技術を活かし、児童へ丁寧に指導されました。また、しめ縄作りを長年続けておられる宇田川義明さん（小江尾）も指導されたほか、地域や保護者ボランティアも参加しました。児童は、当日にむけて練習したこともあり、上手に縄をないながら、できた縄にふさや紙垂をつけてハサミで成形し、しめ縄を完成させました。



▲指導する小椋さん（写真右）

12/2

誰もが利用しやすい環境や情報のために



▲講演する山根さん

「第5回人権・同和教育講座たんぽぽ学級」を12月2日（月）、江府町防災・情報センターで開催しました。ユニバーサルデザイン推進専門員の山根恒さんを講師に迎え、「ユニバーサルデザインの推進と人権の尊重」と題して講演を行いました。山根さんは「色を見分けにくい人もいたり、生活の様々な場面でバリアを感じる人がいることに気づくことが大切。ただし、手助けが必要かどうかは人それぞれなので、声掛けをするなどの確認が必要である」と語られました。

手作りのリースで慰問

12/5～

江府町赤十字奉仕団では地域福祉活動の一環として、毎年、町内にお住いの80歳以上の一人暮らしの高齢者を訪問し、手作りの品物をお渡ししています。今年度は11月から12月にかけて、クラフトテープを使った「梅と鶯のリース」を作成。12月5日（木）から、各集落担当の団員が、笑顔で元気になれることを願いながら訪問し、100名の方にお渡ししました。訪問先では「かわいいね、飾らせてもらいます」など嬉しいお声をいただきました。



▲作業風景（写真左）とリース（写真右）

12/5

「下蚊屋荒神神楽保存会明神社」が受賞報告



▲盾を手にもつ小椋会長（写真左）

鳥取、島根両県で地域文化の向上に貢献した個人や団体を顕彰する「第32回山陰信販地域文化賞」を「下蚊屋荒神神楽保存会明神社」が受賞し、会長の小椋和美さんが12月5日（木）、町に受賞報告を行いました。小椋会長は「来年も春日大社での奉納公演を予定しています。今年の東京公演では、特に外国の方に大変好評でした。これからも県内外で後世に残る活動をし、江府町を広めたい」と意気込みを述べました。白石町長は「町の貴重な宝。今後も応援していきたい」と述べました。

第34回江府町バドミントン大会

12/8

「第34回江府町バドミントン大会」を12月8日（日）、江府町運動公園総合体育館で開催しました。9ペアが出場し、そのうち中学・高校生の参加が10名。バドミントンが生徒たちの集いの場となり、さらには大人ともつながる交流の場となりました。結果については以下の通りです。



▲試合の様子

【結果】（全種目混合によるダブルス戦で実施。敬称略。）

【1部トーナメント】（予選ブロック1位通過）

優勝 三輪 真也・川上 義人 ペア
2位 三輪 奏海・宇田川 愛友 ペア
3位 山川 達矢・福田 学 ペア

【2部トーナメント】（予選ブロック2位通過）

優勝 浜田 恵太・森田 響 ペア
2位 浜田 晃平・岡本 珀斗 ペア
3位 安田 翔也・加藤 祐希 ペア

【3部トーナメント】（予選ブロック3位通過）

優勝 清水 麻衣・加藤 毬恵 ペア
2位 藤原 花凜・藤原 奏 ペア
3位 安部 亜矢子・松本 志保 ペア

12/11

ピアノとヴァイオリンの響きに感動♪



▲岡野さんと各務さんによる演奏

「ヴァイオリンとピアノによるハッピークリスマスコンサートin江府小」が12月11日（水）、江府小学校で開催されました。演奏講師は、ヴァイオリニストの岡野志穂さんとピアニストの各務美香さん。「白鳥」、「G線上のアリア」、「チャルダッシュ」、「クリスマスメドレー」などが演奏され、ヴァイオリンとピアノのハーモニーが会場を包み込みました。また、児童の歌やリコーダーに合わせて演奏も行われました。児童からは、「音色が混ざり合ってとてもきれいでした」など感想が述べられました。

江府町防災・情報センターを飾る門松を設置

12/12

明德学園学生自治会の有志による「門松づくり」が、12月12日（木）、江府町防災・情報センターで行われました。平成12年に始まった「門松づくり」は、今年で20回目。切り出した竹を、定規で測り、チェーンソーを用いて切断。カンナで磨きあげ加工すると、土台にしっかりと固定していきました。松や南天、葉牡丹の飾り付けは、有志一同で工夫を凝らして仕上げました。有志のみなさんは、「良い年を迎えられるように、今年も丁寧に作り上げました」と述べられました。



▲チェックしながら丁寧に作業

12/13

一筆一筆、思いを込めて真剣に



▲課題に取り組む6年生の様子

森山亜由美特別非常勤講師による「書写指導」が12月13日（金）、江府小学校で行われました。毛筆の「書写」は3年生から6年生までの児童が対象で、郡書き初め競書会に向けて取り組むものです。6年生の課題は「伝統を守る」。児童は「とめ」や「はらい」、「はね」など文字ごとのポイントを確認すると、半紙に文字が収まるよう丁寧に筆を進めていきました。森山講師は「まずは、“大きく、元気よく”書くことが、何よりも大切だと思います」と指導されました。

奥大山スキー場雪崩事故慰霊献花式

12/13

「奥大山スキー場雪崩事故慰霊献花式」が12月13日（金）、奥大山スキー場で執り行われました。町、町議会等の関係者が出席。出席者は、平成22年12月31日に発生した雪崩事故により亡くなられた4名の方々へ黙とうを捧げると、慰霊碑へ白い菊の花を手向けました。白石町長は「年月が経って、様子も変わってきますが、このような事故が二度と起きないようにするのが我々の責務だと思います」と決意を述べました。



▲慰霊碑に手を合わせる白石町長

12/16

長年の活動に対して感謝状を贈呈



▲贈呈を受けたみなさん（写真1段目左・川上博久さん、右・河上順子さん、2段目左から奥田忠文さん、神庭眞さん、山本信男さん）

「民生委員・児童委員感謝状等贈呈式」が12月16日（月）、江府町役場で執り行われました。川上博久さん（本町1丁目）、神庭眞さん（大河原）、奥田忠文さん（柿原）、山本信男さん（尾之上原）、河上順子さん（宮市）の5名に、「町長感謝状」、「厚生労働大臣感謝状」、「県知事感謝状」が白石町長より贈呈されました。白石町長は「みなさまには大変お世話になりました。役を退かれても、町民の福祉のために、これからも陰ながら支えていただければと思います」と感謝の言葉を述べました。

降雪と安全を願う鏡ヶ成スキー場開き

12/21

「鏡ヶ成スキー場開き」が12月21日（土）、鏡ヶ成スキー場レストハウスで執り行われました。グレンデには雪はありませんでしたが、環境省、県、町、町議会、御机集落、スキー場関係者などが出席し、玉串を捧げて降雪と安全を祈願しました。スキー場を運営する休暇村奥大山金田直也支配人は、「今年もたくさんの笑顔があふれるスキー場になるように、安全第一で精進していきます」と述べられました。鏡ヶ成スキー場は2020年4月5日（日）まで営業予定です。（※積雪状況により変更有）



▲玉串を捧げる様子

12/21

『シンポジウム～みらいにチャレンジ！わが町の高校生』



▲日野高校生による発表の様子
（来年の江府町でのeスポーツイベントの告知）

「日野高校魅力向上推進協議会・日野郡ふるさと教育推進協議会協働シンポジウム」が12月21日（土）、日野町文化センターで開催されました。日野高校生のほか、日野町地元改革（JK）課、鳥取城北高校、広島県立大崎海星高校、島根県立津和野高校の生徒の皆さんが、それぞれ、地域にフィールドを広げ、地域の皆さんと一体となって取り組んでいる活動を大人顔負けのプレゼンテーションで報告していました。また、作野島根大学教授をはじめ、「教育魅力化を持続的に展開するには～生徒を育てる地域×学校からのアプローチ～」と題しパネルディスカッションも行われました。

公民館講座のご紹介

今回は年間講座である絵手紙教室をご紹介します。絵手紙教室は、現在5名で活動しており、学習の成果を文化祭や公民館主催の春の作品展で披露しています。また、江府町防災・情報センターで作品を展示していますので、ぜひご覧ください。

初めての方でも楽しく活動できます。興味のある方はお気軽に見学にお越しください。詳しくは江府町教育委員会事務局（電話・0859-75-2005）までお問い合わせください。

日 時：毎月第3月曜日

午後1時30分～3時30分

場 所：江府町防災・情報センター
準備品：筆・絵筆・水入れ・ハガキ



▲令和元年度文化祭での作品展示の様子

エリカ先生のKOFU DE ACADEMIA 17

An American Thanksgiving Tradition

For the American Thanksgiving tradition, my friends and I gathered, each making a dish and sharing our home cooked meals together while conversing and expressing our thanks.

This year, I find myself most thankful for the friends and connections I have made. I feel blessed to have been able to meet the friends I have in Japan who come from all over the world. We all have such different backgrounds, yet we somehow met in an island country on the other side of the world and have been able to grow and support each other since. I am most thankful for all the people by my side right now. Even though my family is back in America, I feel like I would consider what I have in Japan now as family, too. I hope everyone has a wonderful holiday season this year!

アメリカの感謝祭の伝統

アメリカの感謝祭の伝統のために、私は友人と集まって、料理を作ったり家で作った食事を共有したりして感謝の気持ちを伝え合いました。

今年、私は自分の友人やそのつながりにとても感謝しています。日本で世界中から来た友達に出会えたことがうれしいです。私たちは皆、異なる背景を持っていますが、どういうわけか世界の反対側の島国で出会い、それ以来お互いを成長させ、支え合うことができました。私は今、近くにいるすべての人々にとても感謝しています。私の家族はアメリカに戻っていますが、私は日本で一緒にいる人たちを家族として考えたいと思っています。皆さんが今年も素晴らしい休日を過ごされることを願っています！

エリカ先生の動画はこちらから



「不易流行」

～よき伝統を守りながら(不易)～

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によつて

「理想」を創造する

にぎやかな過疎をつくる

去る11月27日(水)に東京渋谷にあるNHKホールで、全国町村長大会がありました。全国各地からほとんどすべての町村長が出席し、内閣総理大臣、総務大臣を始め、数多くの国会議員の出席で大盛況の大会です。この大会で、町村長へのメッセージという形で講演された、明治大学農学部教授の小田切徳美さんのお話が心に残りました。それは、「にぎやかな過疎をつくる」というものでした。人口データを見る限りは依然として過疎であり、自然現象が著しいために、人口減はむしろ加速化しているが、地域内では小さいながら、新たな動きが沢山起こり、なにかガヤガヤしている雰囲気伝わってくる。そんな現象が人口規模の比較的小さな自治体で起きているそうです。「人が人を呼ぶ」というフレーズは、私が日々更新しているブログのタイトルであり、

それが小田切教授の口から発せられたことで、強く関心を持ちました。外に開かれた地域づくりに取り組む地域住民、地域で自ら「しごと」を作ろうとする移住者、地域への関わりを持つようとしてくれる関係人口、社会貢献活動が活発化している企業、そういった多彩なプレイヤーがごちゃ混ぜになつてうごめいている。そんな地域は生き生きとして、楽しい町なのではないかと。

江府町でも役場がサポーターとなつて、関係団体と連携、協力しながら、そのような「にぎやかな過疎」をぜひ作り出していきたいと思ひます。



▲全国町村長大会の様子
(講演する小田切徳美さん)

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム(※)活動報告

新年あけましておめでとうございます。先月号でもお伝えいたしましたが、役場の若手職員が班に分かれ、事務改善について話し合う「小さなカイゼン部活動」は町民向け発表会にむけて最終調整に入っています。一方、役場全体としては、令和元年11月7日(木)に、全職員を対象とした、「第1回新庁舎移転に伴う作業等の説明会」を行いました。ガイドラインや、ファイリングのルール化について説明があつたほか、「毎月25日を書類整理の日とし、課内や各自で机の周り等の書類を片づけること」も示されました。

話は「小さなカイゼン部活動」に戻りますが、ある班では「書類整理の日」が役場全体で浸透していくために、率先垂範で実践始めました。書類整理を啓発するためのチラシを作成し、役場各事務所の入り口や壁などに貼り付けを行いました(左写真参照)。これにより書類整理の動機づけにつながることが期待されます。また、整理の状況をまとめた庁内報を、定期的に配布することも予定しています。



▲役場各所に貼られている啓発チラシ

※「3000人の楽しい町」プロジェクトチームとは・・・有志の20～30歳代の江府町役場職員と、その職員から選出されたリーダーで構成。今年度で4期目を迎え、楽しい町の支障となる様々な課題について課を越えて取り組む。

これまでの活動はこちら



これまでの活動の様子はQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

舞踊劇「3びきのやぎとトロル」



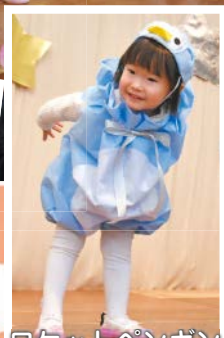
バナナ天国



ほよん行進曲



ロケットペンギン



おさるのリボン



サンタはいるの?



ワンツー! パンツー!



地球ぴよぴよん



うた「やまのおんがくか」「きらきらぼし」

12/20 令和元年度子供の国保育園おたのしみ会

「令和元年度子供の国保育園おたのしみ会」を12月20日（金）、子供の国保育園で開催しました。園児のみなさんは、笑顔で元気に発表を行いました。

（※スペースの都合上、一部の演目のみ掲載しております）

ダンス「5匹の子ブタとチャールストン」



劇「長ぐつをはいたネコ」



12/7 星ふる 雪ふる はあとふるコンサート ～アイリス合唱団～

アイリス合唱団による合唱のほか、ゲストの木下忍さん（日南町）によるピアノ演奏や、リズムトレイン江府によるダンスショーなどが催され、会場は大盛況でした。
（※スペースの都合上、一部のみ掲載しております）



1_アイリス合唱団による手話を交えた合唱 2_会場全体で「パブリカ」 3_木下さんと大岩美月さんの連弾 4_指揮する加藤隆子さん

12/8 第36回解放文化祭

今年のスローガンは「みんなの想いと願い、かなえよう令和の時代」。作品展示や舞台発表などが催されました。

（※スペースの都合上、一部のみ掲載しております）



1_作品展示 2_人権作文発表 3_人権標語発表 4_手品(小谷良夫さん)
5_調べ学習発表 6_マンドリン演奏(MM&P) 7_歌(しーちゃん&とーやん&まーやん)

江府町の地域おこし協力隊の活動日記 vol.18

『お正月!!』

またまた、一年が過ぎてしまいました!なんて早いのでしょうか!毎年時間が早くなるのを本当に実感します。年末になると、やはりその年を振り返ってみることが多いかと思います。達成できたことに対しての喜びや、もっと上手く出来たことなどの整理、そして、新年から挑むことや目標を達成しているイメージをすることも多いです。来年以降、これから迎える年をどんな風に生きていきたいか、どのような行動を起こしていきたいか、誰と時間を過ごしていきたいかなど、日ごろから考えます。僕が育った国オーストラリアでは、日本のように深く根付いたお正月の行事は無く、ただ家族みんな揃って時間を過ごす事が多いです。こたつを囲んでミカンを食べるのは日本ならではの風習で、お正月の時期オーストラリアは真夏なので、海に行ったり、キャンプをしてみんな開放的に過ごします。僕が小さい頃は、従兄を含め家族みんなで日本のおじいちゃん、おばあちゃんと、ひいおばあちゃんの家集まり、新年を迎えることもありましたが、さすがに祖父母が亡くなってからは集まることもなくなりました。気がつけばここ何年も、家族と集まってお正月はすごしていません。自分からアクションを起こして、家族総出で集まるお正月をまた復活させたい気持ちです!みなさんも良いお正月を!家族を大切に!

くわはた さいもん
農業振興班 柴畑 才文

明けましておめでとうございます! ついに 2020年が幕開けしましたね!
新年に入って、沢山の何かが始まる感じがしていて、とても楽しみな気持ちです。そして、その準備はすでに始まっています!クロモジによる特産品作りに取組中ですが、現在は、中身はほぼ完成していて、後はパッケージのみだったり、クロモジの飴やお茶なども試作中だったり、春までにはおそらくいくつか御披露目できそうです!それもいろんな方々に関わっていただき、みなさんに助けをいただいているお陰様です!今年は、自宅付近にクロモジ工房も作る予定です。出来れば、メンマ作りや竹炭の工房も同時進行で進めたいところですが、果たしてどうなることやら。作りたいモノ伝えていきたいコトが沢山あるのです。とにかく、3年前の移住の時に思い描いていた夢を実現するために、ひとつひとつ丁寧に想いを込めて行動していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

観光振興班
いわさき ちえ
岩崎 智恵

雪が積もったら農作業はおやすみしておりますが、普段出来ないようなデスクワークをまとめてやる時間もたっぷり確保できます。先日、倉吉の農業大学校でスマート農業イベントがありました。最新の GPS 田植え機や自動操舵トラクター、ドローンなどなど。取組発表では「あまりにも高価なハイテクトラクターは費用対効果の面で導入はまだ難しい」とおっしゃる社長もおられました。実際、中山間地ではオーバースペックな感もある機械だとは思いますが、身近なところからでもスマート化は可能です。それは「事務作業」です。入力項目の自動化やペーパーレス化。今年の正月は事務作業効率化をメインに PC と仲良くしようと思います。

まつもと よしふみ
法人宮市班 松本 良史

特定(産業別)最低賃金が改正されました

鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金

時間額 **807円** (発効年月日: 令和元年12月28日)

(「鳥取県最低賃金」は令和元年10月5日から時間額790円に改正)

詳しくは、以下へお問い合わせ、または最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

【問い合わせ】鳥取労働局労働基準部賃金室 電話: 0857-29-1705

農地の相続について



■相続登記とは？

不動産の登記名義人（所有者）が亡くなった場合、亡くなった方（被相続人）から相続の権利がある人（相続人）へ登記名義人を変更する登記のことです。

■登記名義人（所有者）はご存じですか？

登記名義人とは、不動産（農地を含む土地や建物など）の所有者のことです。江府町内の不動産は、鳥取地方法務局・米子支局に登録され、みなさんの財産の所有権が保証されています。江府町で管理する「固定資産^{ちやうそくさん}名寄帳」で確認することができますので、ぜひとも確認をお願いします。

■登記名義人（所有者）があなたの先祖の方だったら・・・

登記名義人（所有者）が、先代・先々代の方ではありませんか。最近、このような事例が全国的に増え続けています。名義を変えるためには「相続登記」が必要です。

■長期間放置していたら・・・

相続登記をしないまま長期間放置しても罰則はありません。しかし、相続人の数が多くなり相続人同士のトラブルも生じやすくなったり、農地の貸し借りなどの契約にも影響したりします。また、登記に係る費用や登記完了までの日数も多くなるなど、得することは何もありません。

■早めの相続登記を

このように、将来において様々な不利益を被る可能性があります。次世代の親族のためにも、早めの相続登記をおすすめめします。

届出のお願い

平成21年12月の農地法改正によって、相続などで農地の権利取得をしたときは、農業委員会への届出が義務づけられました。これは、農地の有効活用を進めることを目的としています。

まずは、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会にご相談ください。

パソコン農業簿記講習会

農業経営事務の軽減、農業経営状況の診断も受講できます。興味のある方もこの機会に、ご参加ください。

- 1回目 令和2年1月29日（水）
- 2回目 令和2年2月7日（金）
- 3回目 令和2年2月14日（金）

時間：午後1時30分～午後4時

会場：江府町防災・情報センター

※申し込みは江府町農業委員会事務局へ

令和2年1月の農地相談会

農地に関することはお気軽にご相談ください

◎ 相談日 令和2年1月23日（木）
午後1時30分から午後3時30分

◎ 場 所 江府町山村開発センター

第30回江府町農業委員会総会

＜令和元年12月16日（月）開催＞

審議案件すべて承認されました

農地法第3条の規定による許可申請について	2件
農用地利用集積計画（案）について	16件
農用地利用配分計画（案）について	3件

【問い合わせ】江府町農業委員会事務局 電話：0859-75-6620

2020年農林業センサス調査ご協力のお願い

令和2年2月1日現在で農林業センサスが実施されます。農林業センサスは、統計法に基づき5年に1度実施される大規模な調査です。農林業に関係するすべての方を対象とし、報告義務がある調査になります。

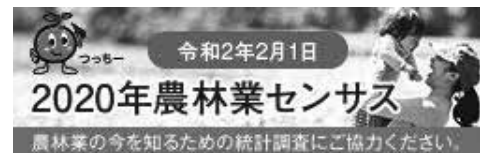
各集落から推薦いただいた調査員の方が、令和2年2月1日までに、調査対象者から聞き取り調査を行い、調査票を対象者に配布しますので、お手数をおかけしますが回答をよろしくお願いいたします。詳しくは統計調査員もしくは以下へお問い合わせください。

【問い合わせ】

農林業センサスコールセンター

電話：0570-01-2004（被調査者用）

江府町役場総務課 電話：0859-75-2211



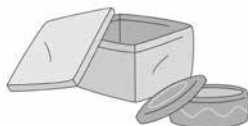
リサイクルプラザからご協力のお願い

分別の間違いが多いごみについてお知らせします。飲料・食品類のビン、缶は不燃ごみではありませんので、不燃ごみに混ぜず、分別をお願いいたします。ビン等のフタは不燃ごみとして捨ててください。

【缶詰等の缶】



【お菓子等の缶】



【飲料等の缶】



【酒ビン】



【栄養ドリンク等のビン】



【調味料のビン】



資源ごみ、不燃ごみ、不燃粗大ごみ、ペットボトルの直接持ち込みは、以下へお問い合わせください。

【問い合わせ】鳥取県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ

電話：0859-68-4071



◀ ビン等のフタは不燃ごみへ

令和元年度第2回江府町職員採用試験

【募集職種】 土木技師（令和2年4月1日採用予定）

【受験資格】 昭和59年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人

【試験日時】 令和2年1月26日（日）

（※正式な時刻および試験会場は受験票に記載いたします。）

【試験方法】 専門試験、事務適正検査、性格特性検査、作文試験、個別面接による口述試験

【応募期間】 令和2年1月15日（水）午後5時まで

（※試験申込書および自己紹介書に所要事項を記入し、申込期限までに下記へ提出してください。

同日までに到着するよう郵送されても差し支えありません。申込用紙は下記で配布しています。）

【申込み・問い合わせ】

江府町役場総務課 電話：0859-75-2211

（〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾 475）

西部町村会事務局 電話：0859-22-2049

（〒683-0054 鳥取県米子市糺町 1 丁目 160 西部総合事務所新館2階）

江府町職員プロモーション動画はこちらのQRコードからご覧ください。



下水道を正しく使っていますか？

～下水道に流してはいけないものを流していませんか～

最近、布切れや水に溶けない紙など、さまざまな異物が混入され、ポンプ内で詰まり、故障・停止する事態が多発しています。下水道へは、詰まりの原因となる異物を絶対に流さないようにしてください。

下水道への異物混入によるポンプの故障が多発し、下水道施設の維持補修費が年々増加しています。下水処理施設の運転や維持管理の費用は、みなさんの下水道使用料でまかなわれています。

一人ひとりが注意して正しく使いましょう。

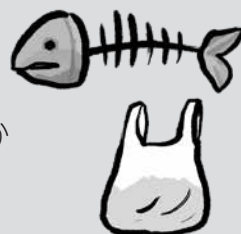


▲ポンプにからまっている布

Q. 下水道が詰まる原因は？

●台所での生ゴミなど

生ゴミ、野菜くず、ビニール片などは下水道管を詰まらせてしまいます。排水口から流れないようにしてください。



●食用油

詰まりの原因で一番多いのが食用油によるものです。食用油は、下水管の中で固くなり付着することで詰まりの原因となります。また、処理場の機能を低下させる原因にもなります。食用油は紙・布などにしみ込ませるか、固化して可燃ゴミで処分してください。



●トイレ

水に溶けない紙・タオル・紙おむつ・下着・その他固形物を流さないでください。特に、流せるタイプの掃除シートの中には、水に溶けにくい物があります。使用方法をよく読んで使用するか、可燃ゴミとして処分してください。



●有害物質

灯油・ガソリンなどの揮発性の高い物質は、管の中で爆発したり管を痛めたりすることがあります。また、殺虫剤・薬品は、処理場で働く微生物を殺し処理能力の低下の原因となります。



●髪の毛

髪の毛は処理場で分解しにくいだけでなく、下水道管の中で汚物にからみ管を詰まらせる原因となります。



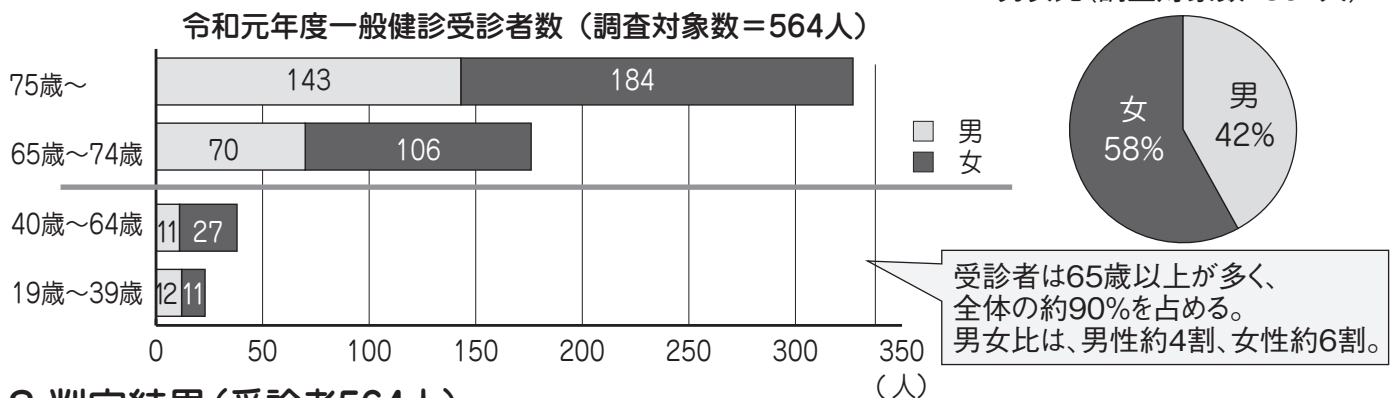
【下水道に関する問い合わせ】

江府町役場建設課 電話：0859-75-3306

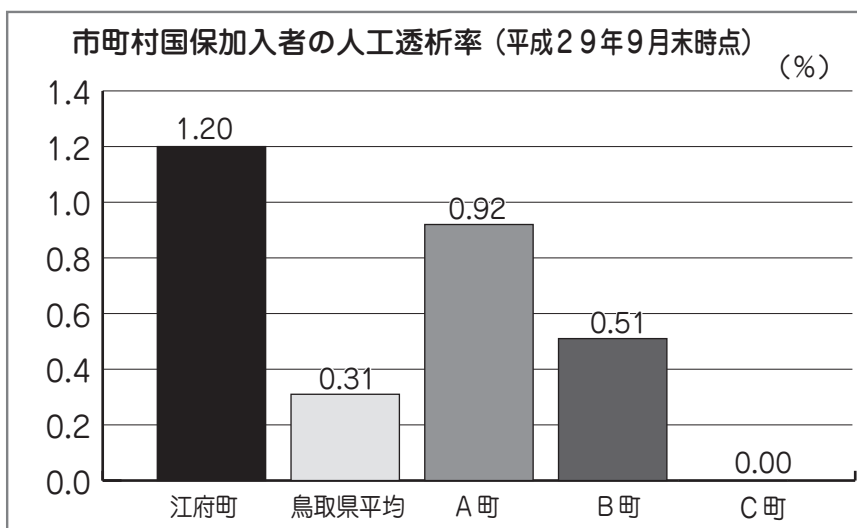
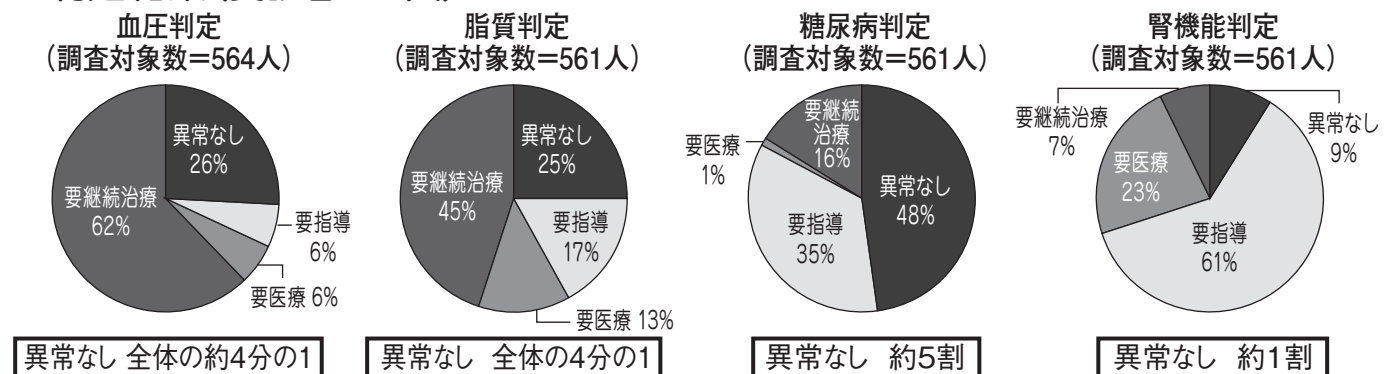
令和元年度住民健診結果の集計について

江府町の現状として、腎機能が低下しつつある方が受診者の約9割と多く、さらに、国保加入者のうち人工透析患者が多い傾向にあります。生活習慣病のコントロールを十分に行い、バランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。また、医療機関に定期受診している方も、全身状態の総合点検として、1年に1回は健康診断を受診されることをおすすめします。

1. 受診者の状況（来場者786人中、一般健診受診者564人）



2. 判定結果（受診者564人）

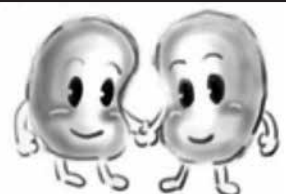


※ A町、B町、C町は、同規模市町村の人工透析率を示す

【腎機能を見よう！】

eGFR

正常：90以上
 正常または軽度低下：60～89
 軽度～中等度低下：45～59
 中等度～高度低下：30～44
 高度低下：15～29
 末期腎不全：14以下



医療機関の定期受診と健診（検診）は異なります。
 1年に1回、一般健診、がん検診、歯科健診を受診されることをおすすめします！

【問い合わせ】 江府町役場福祉保健課 電話：0859-75-6111

～こまめな手洗い、マスク着用を！～ みんなでインフルエンザを防ごう



◆今年もインフルエンザ予防対策を心がけましょう

インフルエンザウイルスの感染力は非常に強く、日本では、毎年約10人に1人が感染しています。鳥取県では、特に12月から3月にかけて流行します。

◆インフルエンザに感染しないために

【日ごろの予防策で、ウイルスの感染経路を断つ！】

咳やくしゃみから飛び散ったウイルスを吸い込む「飛沫（ひまつ）感染」や、手に付いたウイルスが鼻や口を通して体内に入る「接触感染」を防ぐことがポイントです。

○普段から、栄養と睡眠を十分にとり、体の抵抗力を高める

1日3食を規則正しく食べ、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。

適度な運動を習慣にして体力を高め、十分な休養で疲れを残さないようにしましょう。

○人混みに出る時にはマスクを着用する

○こまめに手洗いをする

帰宅時、食事の前、咳やくしゃみを手で受けたときなど、手についたウイルスを洗い流しましょう。

【ワクチン接種も重要な対策方法！】

ワクチンで感染を100%防ぐことはできませんが、重症化を防ぐ効果があります。

○ワクチン接種で気をつけること

ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種してから2週間～5ヶ月程度までと考えられています。

また、インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行が予測されるウイルスに合わせて製造されていますので、予防に十分な免疫を保つため、毎年、ワクチン接種を受けましょう。

○ワクチンを接種する前に

事前にかかりつけ医などの医療機関へ相談・予約をしてください。



◆「感染したかな…」と思ったら

【自宅で療養するときは】

自宅療養で大切なのは、患者さんの体調を管理すること、家族内で感染を拡大させないこと。症状が出てから5日間程度、熱が引いてからでも2日間程度は、他の人に感染させる可能性があります。症状がよくなっても、以下の点に注意しましょう。

●患者さんの体調を管理するために

- ・処方された薬は、最後まですべて飲みきる
- ・家でゆっくり休み、外に出歩かない
- ・早めに休養をとり、しっかり睡眠をとる
- ・栄養を十分にとり、水分補給も心がける

●家族内で感染を拡大させないために

- ・部屋の換気をする（1時間に1回程度）
- ・患者さんに接するときは、念のためマスクを着用し、看病の後は手を洗う。
- ・家族一人ひとりが感染防止に気をつける



【予防や対処方法に関する問い合わせ】

江府町役場福祉保健課 電話：0859-75-6111

鳥取県西部総合事務所福祉保健局（米子保健所）

電話：0859-31-9317



その他の情報は鳥取県健康政策課
ホームページでご確認ください。

確定申告（住民税申告）が始まります

町の申告相談は2月17日（月）から3月16日（月）まで

日程表のとおり、申告相談を行います。必要なものをご準備のうえ、お出かけください。申告された内容は、新年度の住民税（町県民税）の課税資料となり、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料などの算出の基礎となります。
※業務の見直しに伴い、来年度より町からの個別の申告案内はがきは送付しませんのであらかじめご了承ください。



申告が必要な方

- ・ 事業所得（農業・商工業など）がある方
- ・ 不動産所得（家賃・地代）がある方
- ・ 給与を2か所以上からもらっている方
- ・ 生命保険や損害保険の一時金を受け取られた方（確定申告をする必要がある場合があります）
- ・ 医療費控除・障害者控除・寄付金控除など、各種控除を受けられる方

※不動産や株式の売却、雑損控除など、専門的な知識が必要な申告内容の場合、町の会場では十分な対応ができないため、米子税務署が開設している【米子申告会場】（米子コンベンションセンター）の税理士相談コーナーをご利用ください。

申告に必要なもの

- マイナンバーカード（もしくは通知カードと運転免許証や健康保険証などの本人確認書類）
＜マイナンバーカード・通知カードを紛失された方は、役場住民課にご相談ください＞
- 印鑑（認印可、シャチハタ不可）
- 給与・公的年金などの源泉徴収票
- 農林業・商工業・不動産業などの帳簿類など
- 医療費の領収書（人ごと・医療機関ごとに金額を集計したもの）
- 保険会社が発行した生命保険料・地震保険料などの控除証明書
- 障害者手帳など（障害者控除の適用を受けられる場合）
- 寄附金の領収書・証明書
- <還付申告をされる方> 還付金振込先の口座（本人名義）の通帳・カードなど



【ご注意①】 確定申告には、マイナンバーの記載が必要です

申告書にはマイナンバー（個人番号）を記載する欄が設けられており、申告者ご本人や控除対象配偶者、扶養親族および事業従事者などのマイナンバーの記載が必要です。

【ご注意②】 医療費控除を受けられる方へ

例年、申告受付の順番を待っていただく時間が長くなっています。そのため、医療費はあらかじめ受診者ごと・医療機関ごとに集計してからのご来場をお願いします。

税 申 告 相 談 日 程

令和2年(2020年)

会 場：江府町防災・情報センター 1階会議室

期日	曜日	午 前		午 後	
2月	17 月	新道	8:40~11:00	大満・一旦	13:10~16:00
	18 火	荒田・高谷・半の上・宮の前	〃	荒田・高谷・半の上・宮の前	〃
	19 水	尾之上原	〃	日の詰・深山口	〃
	20 木	池の内	〃	池の内	〃
	21 金	本一	〃	本一・本四	〃
	25 火	洲河崎	〃	洲河崎	〃
	26 水	宮市・宮市原	〃	下蚊屋	〃
	27 木	柿原	〃	久連・美女石	〃
	28 金	佐川	〃	佐川	〃
3月	2 月	本五	8:40~11:00	本五・新二	13:10~16:00
	3 火	大河原	〃	吉原・西成・袋原	〃
	4 水	貝田	〃	貝田・助沢	〃
	5 木	杉谷	〃	美用・小原	〃
	6 金	新一	〃	小江尾	〃
	9 月	御机・笠良原・栗尾	〃	下安井	〃
	10 火	本二・本三	〃	武庫・武庫第2団地	〃
	11 水	農 業 青 色 申 告 (終日)			
	12 木	農 業 青 色 申 告 (終日)			
		13(金)・16(月)は予備日 ※16(月)は、午前からの受付です。ご注意ください。			

※混雑状況により早めに受付を終了する場合があります。また、会場は混雑が予想されます。なるべく【米子申告会場】をご利用ください。

※江府町在住の方も、米子申告会場にて確定申告をすることができます。

税務署が開設する米子申告会場のご案内

場 所：米子コンベンションセンター2階 国際会議室

期 間：令和2年2月17日(月)～令和2年3月16日(月)

受付時間：午前9時～午後4時

※土日等の休日は受け付け及び相談は行っていない。

※混雑状況により午後4時以前に受付を終了する場合があります。

※令和2年2月16日(日)以前には、米子税務署には申告会場は設置していません。

【問い合わせ】米子税務署 電話：0859-32-4121

e-Tax (電子申告) のご案内

- ・税務署や申告会場での待ち時間を気にすることなく、自宅にてインターネットで申告や納税などの手続をすることができます。
- ・一部の添付書類(源泉徴収票や医療費領収書など)は、内容を入力して送信することにより、提出が不要となります。
- ・申告書を書面で提出した場合よりも、還付金を早く受け取ることができます。

ご利用には、マイナンバーカード・ICカードリーダーなどの準備が必要です。
詳しくは、e-Taxのホームページ(<https://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。

新しい民生児童委員のご紹介

新しい民生児童委員に委嘱状が伝達されました。任期は3年で、令和元年12月1日から令和4年11月30日までです。民生児童委員は地域住民の福祉の向上のため、相談や指導などを行います。



(写真1列目左から磯江由喜、徳岡まゆみ、新見道弘、加持谷典範、福田 学、中川ユミ子、住田順子、2列目左から上原美千代、藤原眞輝、山野小百合、中田敦美、川上まり子、加藤恵子、3列目左から三代信行、川端 裕、北村公子、三輪貴憲、【右枠】藤原 登)※敬称略

委員	氏 名	住所	担当地区
民生児童委員	藤 原 登	貝 田	貝田
	北 村 公 子	助 沢	助沢・下蚊屋
	川 端 裕 (監 事)	本 五	本町五丁目・小江尾・大満
	三 輪 貴 憲 (副会長)	下安井	下安井・洲河崎
	川 上 まり子	美女石	久連・美女石
	中 川 ユミ子	宮 市	宮市・宮市原・杉谷
	新 見 道 弘	袋 原	吉原・西成・袋原・大河原
	磯 江 由 喜	日の詰	日の詰・尾之上原・深山口
	三 代 信 行	美 用	美用・栗尾・小原
	加 藤 恵 子	新 一	本町四丁目・新町一丁目・二丁目
	山 野 小百合 (監 事)	池の内	池の内
	中 田 敦 美	御 机	御机・笠良原・鏡ヶ成
	徳 岡 まゆみ	半の上	荒田・半の上・宮の前・高谷
	住 田 順 子	佐 川	佐川・柿原
	福 田 学	本 二	本町一丁目・二丁目・三丁目
	加持谷 典 範 (会 長)	武 庫	一旦・新道・武庫
主任児童委員	上 原 美千代 (副会長)	本 一	全 町
	藤 原 眞 輝	新 一	

気をつけよう 冬場のトラブル

低温やけどにご注意!! ～重症になることも～

- ・腰にカイロを貼り、電気毛布を付けて就寝した。翌朝、カイロをはがすと、皮膚がひりひりしたので医者にみてもらったところ、皮がむけて皮膚の深い部分までやけどをしていた。(70歳代女性)
- ・湯たんぽをタオルで巻いて足の下に置いて寝ていたら、足のくるぶしが腫れて水ぶくれが出来ていた。(60歳代男性)

アドバイス

- ・カイロやこたつ、電気毛布など、暖かく感じる程度の温度でも、皮膚の同じ部分に長時間接することで低温やけどが起きます。特に高齢者は皮膚が薄く、感覚機能が低下しているため重症になりやすいので注意が必要です。
- ・低温やけどを防ぐためには、長時間同じ部分を温めないことが重要です。
- ・低温やけどは、見た目より重症の場合があります。痛みや違和感があるときは、すぐに受診しましょう。



○消費生活相談員による相談窓口

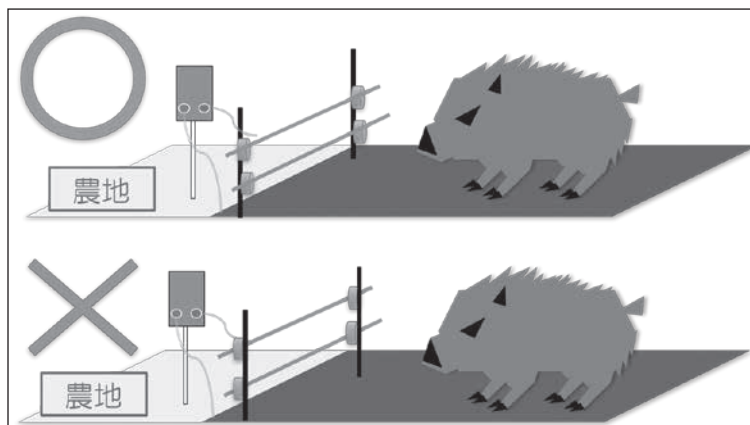
令和2年1月29日(水)、2月19日(水) 午前9時～午後4時
役場本庁舎1階会議室にて開催(役場正面向かって右側の入り口からお入りください)

○通常の相談窓口

平日：江府町役場住民課(電話：0859-75-3223)
土日：鳥取県消費生活センター(電話：0859-34-2648) ※祝日、年末年始除く



右の図をご覧ください。上の絵は正しい設置方法で、下の絵は間違った設置方法です。さて、その違いは何でしょう？
答えは碍子(がいし)の向きです。



獣害対策 最前線

第20回 残念な対策② 碍子

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也
【問い合わせ】0859-72-1399



▲正しく碍子を外側に設置した様子

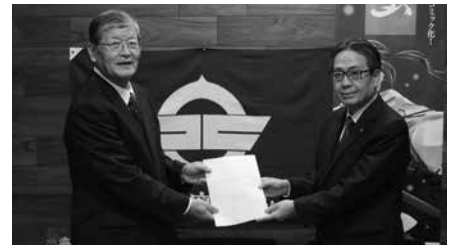
碍子は、電線を巻き付けたり、引っ掛けたりして使い、支柱から漏電しないようにしたり、線の張り具合を調整するために用います。この碍子が農地側に向いていると、なぜダメなのでしょう？外向きでも農地向きでも大した差はないように感じます。でも実は、イノシシの習性が関係しています。
イノシシは十字になっているものを見ると縦の棒から触れたがる傾向があります。つまり電気柵なら電線よりも支柱に触れたがる傾向があるということです。碍子が農地に向いているということは、支柱がイノシシ側にあり、支柱を押し倒してしまう危険性が高まります。
「碍子は外側」に向けて設置し、しっかり電線に触れさせて痛い思いをさせましょう！

公共施設等あり方検討委員会の報告をおこないました

町では、江府町内の様々な公共施設等について、継続維持、統廃合や利活用といった今後の方向性を決めるため、町民委員、学識経験者からなる「江府町公共施設等あり方検討委員会」を設置しています。検討結果を取りまとめた報告書が令和元年12月5日（木）、委員会から白石町長に提出されました。

今年度、委員会は合計5回行われ、主に新庁舎移転にあわせて遊休施設となる現在の役場庁舎、山村開発センター等の庁舎関連施設、旧小学校といった12施設について、検討を重ねられました。町では、報告書の内容を踏まえたうえで、効率的な施設のマネジメントを行うために個別の施設計画を策定していきます。

報告書は町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



▲白石町長に報告書を手渡す前川委員長（写真左）

ホームページは
こちらから



【公共施設等あり方検討委員会の問い合わせ】 江府町役場総務課 電話：0859-75-2211

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行です。お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がありましたら、役場住民課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限 1月分 令和2年3月2日（月）まで

平成31年4月から令和2年3月までの国民年金保険料は月額16,410円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限までに納めましょう。

・国民健康保険税（8期） ・介護保険料（8期）
・後期高齢者医療保険料（7期）

納付期限及び口座振替は令和2年1月31日（金）

人事異動

（令和元年12月31日付）

【退職】 住民課長 日野尾 泰司

建設課主幹 伴藤 雅哉

人事異動（令和2年1月1日付）

（ ）は異動前

課長級 住民課長
農林産業課長

川上 良文（農林産業課長）
末次 義晃（農林産業課商工観光担当課長・
農業委員会事務局長【併任】）

農業委員会事務局長

松原 俊二（農業委員会課長補佐）

主任級 農林産業課・農業委員会
事務局主任【併任】

仲田 裕紀（農林産業課主任）

■まちの人口 2,850人（－9）
男 1,336人（－6）
女 1,514人（－3）
■世帯数 1,036 世帯（－2）
令和元年12月26日現在（ ）は前月比

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

令和元年
12月26日
現在
延申込件数 708件
（前月比+149件）
延寄付金額 11,265,000円
（前月比+378万円）

◎香典返しとして
柿原 清水 隆司 父昭広死去
米子市 伊達 寿彦 父武死去（御机）
米子市 福田 陽康 父敦人死去（本町）
池の内 小田 隆 妻好死去
御机 小椋 理史 母波津江死去

◎ご寄付
社会福祉協議会に次の方から
ご寄付をいただきました。
（12月26日までの届け） 敬称略

◎ごめい福を祈ります
（住所）氏名（年齢）（世帯主）
本町三 岡本 昭一 85歳 健二
池の内 小田 好 85歳 隆
新道 宇田川 寛良 67歳 英規
御机 小椋 波津江 85歳 勉

◎お誕生おめでとう
（住所）氏名（性別）（保護者）
武庫第二 古海 結子 女 修祐

◎ご結婚を祝します
宇田川佳宜 一旦
清水 恵

人の動き 12月26日までの届け（敬称略）

お知らせ

1月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
本5=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
13	14 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 パッチワーク教室 (年間) 防 午後1時～3時 囲碁教室 本5 (広域隣保活動) 午後1時～5時 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～9時30分	15 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 書道教室 本5 (広域隣保活動) 午後4時～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	16 明徳学園開校日 折り紙教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 陶芸教室 創 午後1時～4時 書道教室 防 午後1時30分～3時	17 フラダンス教室 防 午後2時～3時30分	18	19 まなびや 防 午前10時～正午 ピアノレッスン 防 午前11時～午後5時 町長と町のみなさん との意見交換会 防 午後1時30分 ～2時30分
20 カラオケ同好会 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 絵手紙・墨彩画教室 防 午後1時30分～3時30分	21 元気クラブ(1) 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～9時30分	22 大正琴教室 防 午後1時30分～4時30分 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	23 元気クラブ(2) 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	24 お茶会 本5 (広域隣保活動) 午後2時～4時	25 和紙折紙教室 防 午後1時30分～3時30分 「図書館友の会」 研修会 防 場所:江府町防災・情報 センター2F研修室 【問い合わせ】 江府町立図書館 電話:0859-75-2005	26 ピアノレッスン 防 午前9時～午後0時30分 ピアノレッスン 防 午後4時30分～5時30分
江府町・西ノ島町児童交歓スキー教室(1月20日～22日) 20日:江府小学校 21日:鏡ヶ成スキー場 22日:江府町防災・情報センター(見送り)						
27 油絵教室 防 午後1時30分～3時30分	28 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 パッチワーク教室 (年間) 防 午後1時～3時 アイリス合唱団 防 午後7時～9時30分	29 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	30 図書館休館日 防 本の貸出、閲覧は出来 ません。本の返却、新聞・ 雑誌の閲覧は出来ます。 【問い合わせ】 江府町立図書館 電話:0859-75-2005	31		

2月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
本5=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
					1 編物教室 本5 (広域隣保活動) 午前9時30分～正午	2 ピアノレッスン 防 午前11時～午後5時
3	4 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～9時30分	5 手芸教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 大正琴教室 防 午後1時30分～4時30分 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	6	7 お茶会 本5 (広域隣保活動) 午後2時～4時 フラダンス教室 防 午後2時～3時30分	8	9 ピアノレッスン 防 午前11時～午後5時
10 押し花教室 防 午後1時～5時 油絵教室 防 午後1時30分～3時30分	11 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 パッチワーク教室 (年間) 防 午後1時～3時 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～9時30分	12 元気クラブ(1) 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 囲碁教室 本5 (広域隣保活動) 午後1時～5時 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時 人権・行政相談 午前9時～正午 防災・情報センター	13 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	14 いけばな教室 防 午後7時～9時	15	16 まなびや 防 午前10時～正午 町長と町のみなさん との意見交換会 防 午後1時30分 ～2時30分



【叙勲受章】



瑞宝双光章 教育功劳

中尾 慶治郎 さん（尾之上原在住）

中尾さんは、昭和46年から平成20年までの37年間を教育者として勤められ、退職後は「祐生出会いの館」（南部町）の副館長に就任。地域に根ざした教育実践にご尽力されました。

メリークリスマス！「江府のサンタクロース」から
子供の国保育園へプレゼント♪▲「江府のサンタクロース」から贈られた
プレゼントとメッセージ

12月5日(木)…。早番の保育士が出勤すると、園舎前に袋に入ったプレゼントを発見。「こどものくにほいくえんの元気な皆さんへ みんなにプレゼントです 楽しいクリスマスを 江府のサンタクロースより」とメッセージも添えられていました。中身を確認すると、「雪だるまのイルミネーション」が入っていました。梅林園長は、「園で大切にに使わせていただきます。江府のサンタクロースさん、ありがとうございました」と感謝を述べました。

▲箱の中身は
「雪だるまの
イルミネーション」

今月のフェイス

ずっとこの仕事に携わりたい

吉川 歩さん
(一旦在住)

高知の大学を卒業後、尚仁福祉会に就職し、「デイサービスセンター江美の郷」で介護福祉士として働いています。中学生の時に職場体験で、利用者の方から感謝の言葉をいただいたことがきっかけで、介護の道に進もうと思いました。昨年10月には東京で開催された、「第10回オールジャパンケアコンテスト」の口腔ケアBの部（勤続5年以内）に出場させていただきました。先輩方にアドバイスをいただきながら、普段の業務の中で意識しながら取り組んでいった結果、優秀賞を受賞しました。常に、利用者さんと同じ目線でいることを大切に、信頼される職員を目指していきたいです。

COVER 一表紙の写真一



子供の国保育園内にある子育て支援センター「じゃりんこ」で令和元年12月17日(火)に行われた、「第3回こっこくらぶ」。下島惇子講師の指導のもと、お子さんの手形や足形で、今年の干支「ねずみ」や「門松」、「初日の出」などのアートを作成しました。